

平成24年度事務事業評価シート

取組みコード 53143

区分	補助金・交付金	担当課	商工観光課	作成日	平成24年5月25日
事業名	地域活性化イベント・三増合戦まつり補助金	開始年度	平成12年度	予算科目	6.1.3.2.1

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第5部 多彩な産業の活力あるまちづくり	章	第3章 地域資源を活用した観光の振興
節	第1節 観光・レクリエーションの振興	基本施策	4 観光PRと推進体制の整備
取組みの基本方向	(3)観光協会の組織強化と円滑な運営を支援するとともに、観光振興事業のPR活動を支援します。		
根拠法令等	愛川町補助金の交付等に関する規則		
目的 (誰・何を対象に、何のために)	三増合戦まつりは、地元三増区が中心となり、かつての戦国時代の武田・北条の合戦を地域の歴史的産物として広くアピールするとともに、永く後世に継承するため、地域が一丸となって開催しているイベントであり、地域の活性化の観点から事業の一部を補助するものである。		
内容・方法 (何を行っているのか)	三増合戦碑周辺において騎馬武者行列、芸能発表会、陣中鍋の振舞い、各種模擬店などを行っている。		

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度		平成28年度		
		『観光・レクリエーションの振興』について「満足」と感じる住民の割合(%)		43.3		53.0		
		入込観光客数		1,425,613人/年		1,496,000人/年		
	指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度 (H22年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標	三増合戦まつり来客数(人)	増	来客数を確認することにより、成果の状況を確認する。	計画値		9,000	9,000	9,000
				実績値	9,000	9,000	5,000	9,000
				達成度※自動計算		100.0	55.6	100.0
活動指標	広報紙等による周知回数(単位:回/年)	増	1年間に町広報紙へイベントの周知を図るための記事を掲載した回数	計画値		2	2	2
				実績値	2	2	2	2
				達成度※自動計算		100.0	100.0	100.0

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年 度		基準年度(決算)(H22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A)事業費(円)		1,100,000	1,100,000	1,000,000	1,000,000
(B)概算職員数(人)		0.004	0.004	0.004	0.004
(C)=(B)×(E) 人件費(円) ※自動計算		33,200	33,200	33,200	33,200
(D)=(A)+(C) 総事業費(円) ※自動計算		1,133,200	1,133,200	1,033,200	1,033,200
単位当たりコスト※自動計算		125.9	125.9	206.6	114.8
財源内訳(円)	特定財源	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源※自動計算	1,133,200	1,133,200	1,033,200	1,033,200

4. 事業の項目別評価(分析)

項 目		判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性	直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か	高 低	B
	必需性	当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか		
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している		×	C
	基準年度と比較して成果が向上している		×	
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (判定基準) A 成果が向上していて、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い C 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い D 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い 費用が増加し、成果も低下している		向上 成果 55.56%	C
			縮減 費用 91.18%	
総合評価 ※自動判定			廃止も含めた検討が必要	

5. 特記事項

本事業は、イベント開催時の天候状況等により成果指標に大きな影響を及ぼすことになる。

6. 1次評価(担当課)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃 止
理由	地域住民の意識に浸透したイベントであり、町の活性化にも繋がっているため。		
今後の方向性	各年度の実績を評価しつつ、繰越金の額を勘案した適切な補助が必要と考える。		

7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃 止
今後の方向性に係る意見等	有効性と効率性がC評価であるのは、来場者数の減少によるものであるが、減少は天候の影響が大きかったことから、やむを得ないものと判断する。ただし、基金の状況を踏まえた補助額とするよう検討すべきである。		

8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃 止
今後の方向性に係る意見等			

9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

現状のまま引き続き事業を実施する。

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃 止
理由・改善方針	評価時の意見に留意しながら、当面は現状のまま事業を実施するものとする。		